

令和4年度 都城市立山田小学校 学校運営協議会評価報告書

4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要す

本年度の重点目標《 確かな学力の育成 豊かな心の育成 健康教育の推進 ふるさと教育 》

指導項目	重点評価内容	学校の自己評価結果コメント	自己評価	類型	学校関係者評価コメント
知	<p>確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 4+4のチェックポイントによる授業改善と「学びの確認」による学力の向上 タブレットの活用等による学びの深化 図書館サポーターと連携した読書活動を通じた読解力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 国語科の単元テストの平均は86.5点（80点～91点）算数科の平均は83.3点（80点～91点）だった。また、個人差や学年差も見られた。1月に行われるCRTテストの結果の分析を行い、劣っている領域や伸ばす必要がある力を把握し手立てを講じていく。 職員研修において、ICT(ノートパソコン)を活用した「分かる・できる授業」を目指し、授業改善を行った。発達段階に応じて技能の習得に差があるが、児童全員が自分のパソコンを扱うことができる。 4月から12月までの図書貸出冊数は、前年度8872冊に対し、本年度は5157冊だった。（5月～8月まで図書館サポーター不在） 	2.7 3年度	3.2 3.2	<ul style="list-style-type: none"> 児童が落ち着いた態度であった。昨年度より平均点が向上しており、先生方の指導の成果が表れていると思う。 一人一台端末の活用を学校全体で工夫し研修に取り組んでいて素晴らしい。 今後も図書館サポーターと連携し、読書に親しむ児童の育成を目指していただきたい。 CRT分析で学力アップの期待が持てそうですね。理解度の低い子への手立ては何か工夫（個別対応とか）があれば・・・と思います。 タブレットに関してはみろみろ間に使いこなしていきびっくりさせられます。 読書に関しては、冊数も目安になるかもしれませんが、どれだけ読み込んでいるかも大切に思えます。 単元テストの平均点が高くなってきている。引き続きこの取組みに期待したい。 児童全体がパソコンを扱えるのはいい事だと思う。 図書館サポーター不在の割には貸出されているのではないかな。
徳	<p>豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> あいさつ指導の徹底と相手を思いやる心の育成 「小さいうちに大きく動く」をモットーとした早期発見、早期解決 家庭や関係機関との連携を図り教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場に立った思いやりのある言動を行うことができる児童がほとんどである。しかし、相手の気持ちを考えず相手を傷つけてしまう言動がたまに見られることもある。 アンケートや個別の教育相談、いじめ・不登校対策委員会を毎月実施し、生徒指導主事を中心として全職員で問題の早期発見・解決に努めることができた。 特別支援教育推進委員会を定期的開催し、特別な支援を要する児童の情報の共有と共通理解、具体的な対策を協議することができた。 	3.0 3年度	3.6 3.2	<ul style="list-style-type: none"> 日頃より児童の実態把握、情報の共有に努めていて素晴らしい。今後も教育活動全体を通して、豊かな心の育成に努めていただきたい。 特別支援教育を組織として対応できていることがとても良い。今後も職員研修を通して資質の向上を図っていただきたい。 あいさつは校外でも元気な声でしてくれています。 重大ないじめ案件がないということは「小さなうちに大きく動く」ということが生かされた結果に思われます。 特別支援に関しては、家庭・学校との共通理解が大切で、対策への協力もなされているとの事、素晴らしいと思います。 相手を傷つけてしまう言動については、粘り強い指導を期待したい。 早期の対応は拡大防止のため重要だと思う。 特別な支援への丁寧な対応を引き続き期待します。
体	<p>健康教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 立腰指導の徹底と外遊びの推奨 早寝・早起き、朝ご飯の推進と小中連携でのメディアコントロールへの取組 養護教諭や栄養教諭と連携した健康なからだづくりへの意識付け 	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストにおいては、昨年度の数値を上回る項目とそうでない項目があった。コロナ禍が要因と考えられる項目もあり、昼休みの外遊びの推奨や体育授業における工夫を行っている。 小中一貫でメディアコントロール週間を設け、家庭とともにメディア使用について意識して取り組むことができた。また、「メディアのきまり」を作成し、使用時間やスマホの管理等について、改善が見られる児童や家庭が増えている。 食べる姿勢やマナーについては、各学級で毎日指導することで向上している。極端に食べる量が少ない児童への手立てが必要である。 	2.8 3年度	3.0 2.8	<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響による体力の低下を防ぐよう、体育の授業における運動量の確保等、今後も工夫していただきたい。 メディアとの付き合い方や食育についても学校の果たす役割が大きいためこれからも家庭への啓発や児童への指導を継続していただきたい。 コロナ禍の影響はさけられない事ですので、これからの工夫をお願いします。 メディアコントロールに対しては、気をゆるめると逆もどりしそうで、大変でしょうがこれまでの対応を継続してほしいです。 大声でのおしゃべりは駄目ですが、楽しい給食時間になると良いですね。（偏食量も少しはよくなるかも） 体力の向上については、難しい時期ではあるが期待したい。 メディアコントロールの取組は大変ではあるが継続してほしい。 食べる姿勢やマナーについては、保護者を巻き込んで継続してほしい。
ふるさと教育	<ul style="list-style-type: none"> サマイ学や身近な教材、資料を通じた地域のよさを知る活動の取組 各種情報発信に努め、学校運営協議会など地域と連携した取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により実施できなかった活動もあるが、年間指導計画をもとに、生活科や総合的な学習の時間を中心として、地域の人材や素材を生かした体験的な学習を行うことができた。 <ul style="list-style-type: none"> 1、2年生のまちたんけん 3年生の芋植え、芋掘り 3、4年生のサマイ学（山田かかし笑劇団） 4、5年生の田植え、稲刈り 5、6年生の裁縫（ミシン操作） 全校児童のドリーム集会（本校出身：藤森勝美さんの講演） 	3.1 3年度	3.6 3.3	<ul style="list-style-type: none"> サマイ学や地域を知る活動等、丁寧に実施していることや、ホームページを使った情報発信もたいへん素晴らしい。 今年度は少しずつ活動も増え良かったと思います。 子どもを知る事は地域の者としても愛着が湧くし、見守りにも役立つので利用して下さい。 可能な限り、地域と連携した取組を継続してほしい。